



平成 29 年 9 月 21 日

各 位

会社名 株 式 会 社 松 屋
代表者 代表取締役社長執行役員 秋田 正紀
(コード番号 8237 東証第一部)
問合せ先 総務部コーポレートコミュニケーション課
課長 関 泰程
(TEL. 代表 03-3567-1211)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 29 年 4 月 13 日に公表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

●業績予想の修正について

平成 30 年 2 月期第 2 四半期 (累計) 連結業績予想数値の修正 (平成 29 年 3 月 1 日～平成 29 年 8 月 31 日)

(金額の単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	42,000	600	500	400	7 円 55 銭
今 回 発 表 予 想 (B)	42,000	600	500	250	4 円 72 銭
増 減 額 (B-A)	—	—	—	△150	—
増 減 率 (%)	—	—	—	△37.5	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 29 年 2 月期第 2 四半期)	41,745	253	317	392	7 円 41 銭

修正の理由

平成 29 年 7 月 13 日に開示いたしました「当社子会社における主要取引先との契約終了に関するお知らせ」に記載のとおり、当社の連結子会社である株式会社スキャンデックスにおいて、その主要取引先であるフィスカース社（フィンランド）との間の「iittala（イッタラ）」ブランド等の商品供給契約について、平成 29 年 12 月 31 日を以て終了することとなりました。これに伴い、当子会社が運営する直営店舗の閉鎖等に伴う費用を見積もったところ、平成 30 年 2 月期第 2 四半期において約 110 百万円を事業再編関連費用として特別損失に計上する見通しとなりました。その影響ならびに足元の業績動向を踏まえ業績予想を見直した結果、第 2 四半期（累計）において連結の親会社株主に帰属する四半期純利益が前回予想を下回る見通しとなりましたので、業績予想を修正いたします。

なお、個別の第 2 四半期（累計）ならびに連結および個別の通期業績予想数値の修正はありません。

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上